

EUSI メールマガジン Vol. 070

「移民・死刑・ポピュリズム ヨーロッパのなかのハンガリー？」(秋山晋吾)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)
http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 052】

「移民・死刑・ポピュリズム: ヨーロッパのなかのハンガリー？」

秋山晋吾 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

11年前の2004年5月に東欧・南欧10カ国がEUに加盟したとき、近い将来ハンガリーが、EUにとってやっかいな頭痛の種になると予想した人はそれほど多くはなかっただろう。

その頃のハンガリーは、健全な民主主義が定着し高い成長率を維持する国として、数年内のシェンゲン圏入りだけでなく、近いうちのユーロ圏入りも期待されるEU新規加盟国のなかでも優等生と呼びうる存在だった。

その後のハンガリーは、2007年にシェンゲン圏には入ったものの、ユーロ導入に関しては、EU加盟後の経済成長の鈍化・後退や財政赤字の拡大のゆえに、事実上、無期限延期の状態に陥ってしまった。

ただ、経済・財政上の問題を抱えているだけであれば、2008年リーマンショック以降に表面化した南欧諸国を震源とする債務危機の方がEUにとっては格段にやっかいである。ユーロ圏に入っていないハンガリーの財政問題は、ギリシア問題のようにEUの屋台骨を揺るがす問題にはなりえない。

では、ハンガリーのなにかがやっかいなのか？

それは、ヨーロッパとヨーロッパ統合の根本的な理念・価値観と衝突しかねない問題が次から次へと持ち上がり、しかもその震源が政府自身だということである。

2010年に行われた前回総選挙でオルバーン・ヴィクトル氏が首相に返り咲いて以降、ハンガリーは、財政規律問題でEUと摩擦を起こすにとどまらず、司法の独立や報道の自由を侵害する政策を進めるなどして繰り返しブリュッセルやstrasブールから厳しい批判を受けてきた。

昨年の総選挙が与党による再度の大勝に終わった直後にも、オルバーン首相が演説のなかで「今日の世界が関心を向けている政治体制は、西欧的でも、自由主義的でも、おそらく民主的でもないにもかかわらず成功しているような体制だ。[...]我々も西ヨーロッパで受け入れられているドグマやイデオロギーと決別して、新しいハンガリー国家の形を見つけ出そうではないか」と語って、ハンガリー国内からだけでなくヨーロッパ中から懸念と批判の声が上がる事態となった。

そのオルバーン氏が持ち出した最新のテーマが、移民の規制強化と死刑制度の復活だ...

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol52.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI ワークショップ「EU とアジア諸国との関係」

日時: 2015年5月25日(月) 16:30-18:00

場所: 一橋大学東キャンパス マーキュリータワー5F EUSI 会議室

講演: Enrico D'Ambrogio (欧州議会政策調査官)

司会: 中西優美子 (一橋大学大学院法学研究科教授、EUSI 所長)

使用言語: 英語

参加: 無料・当日参加可能

<http://eusi.jp/outreach/2015-5-25/>

2. EUSI 主催ファン＝ロンパイ EU 前大統領(欧州理事会前常任議長)講演会

日時: 2015年6月2日(火) 14:45-16:15

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 北館 1F ホール

主催: EUSI、共催: 慶應義塾大学

講演: ヘルマン・ファン＝ロンパイ EU 前大統領(欧州理事会前常任議長)

"The EU-Japan Partnership and the EU's Role in the World"

「世界の中の日・EU パートナーシップと EU の役割」

パネリスト:

田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授、ジャン・モネ・チェア、EUSI 理事)

鶴岡路人 (防衛研究所主任研究官)

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)

使用言語: 英語 (通訳なし)

参加: 無料・事前登録要 (先着順 200 名まで)

お名前・ご所属を明記し、keio@eusi.jp (EUSI 慶應分室) までお送り下さい

(※当日までに登録されていない方のご入場はできません)

<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/2015-0602/>

http://eusi.jp/en/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/van_rompuy_20150602/

<http://eusi-politics.tumblr.com/post/119832666925/eu-eu>

3. EUSI 主催イェンス・ガイエル (Jens Geier) 欧州議員講演会

日時: 2015年6月4日(木) 10:45-12:15

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 東館 6F G-SEC ラボ(会議場)

使用言語: 英語 (通訳なし)

参加: 無料・事前申込不要

講演: イェンス・ガイエル (Jens Geier)

(欧州議会議員: ドイツ社会民主党(SPD)所属・欧州議会対日交流議員団)

"European Union Current Affairs and Challenges - A MEP's Views"

「EU の現状と挑戦－欧州議員の観点から」

司会: 細谷雄一 (慶應義塾大学法学部教授、EUSI 執行委員)
<http://eusi.jp/outreach/seminar-workshop/seminar-politics/2015-0604/>
<http://eusi-politics.tumblr.com/post/119832366730/jens>

4. EUSI 津田塾公開講座

「イギリス総選挙とヨーロッパ その歴史的背景と比較の中の位置づけ」

日時: 2015年6月6日(土) 13:30-17:40

場所: 津田塾大学小平キャンパス 7号館中島記念ホール

13:30-15:30 報告

「イギリスにおける領域をめぐる政治 EU とスコットランド」

池本大輔 (明治学院大学法学部准教授)

「日本から見たイギリス政治 日本政治の『イギリス化』?」

内山融 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

15:40-17:40 ラウンドテーブル (池本大輔・内山融)

司会: 網谷龍介 (津田塾大学教授・EUSI 執行委員)

<http://eusi.jp/outreach/eusi0606/>

【EUSI スカラシップ・インターンシップ (EUSI 加盟大学大学院生等対象)】

EUSI は、EU に関わる研究の遂行を目的に欧州へ渡航する大学院生等を対象に奨学金を支給します。以下の募集要項に従い、奮って応募してください。

対象者: 一橋・慶應・津田塾の各大学院等(課程修了者含む)で EU 研究を行う者
(ただし外国人留学生は対象外)

研修先機関:

- スカラシップ: EU 加盟国内の大学・教育研究機関・EU 諸機関・補助機関等
- インターンシップ: EU 諸機関・補助機関優先、その他 EU 関連 NGO、企業も可

奨学金: 1人につき上限 4000 ユーロ (渡航費と日当)。但し各大学の定めによる

派遣期間: 2015年8月1日-2016年4月30日の間で研究に必要な期間

応募書類: 申請書、研究履歴、研究計画、研究日程表、推薦状、支出計画書

募集期間: 2015年5月20日(水)-7月3日(金)

選考機関: 2015年7月6日(月)-7月10日(金)。面接の日時は事前に本人に通知

選考結果: 2015年7月14日(火)発表

http://eusi.jp/outreach/eusi_scholarship_internship_2015/

EUSI スカラシップについてはこちら

<http://eusi.jp/education/scholarship/backnumber/>

EUSI インターンシップについてはこちら

<http://eusi.jp/education/internship/backnumber/>

【EUSI 所属研究者による記事・執筆情報紹介】

田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授、EUSI 理事)

「揺れる EU」『国際問題』第 641 号(2015年5月) 1-4 頁

<http://www2.jiia.or.jp/BOOK/latest.pdf>

【EUに関するニュース】

- 2015年5月1日 ミラノ国際博覧会開幕。食の安全や食料安全保障・食育・食文化がテーマ。10月31日まで
- 2015年5月3日 モゼリーニ上級代表、世界報道自由デーに寄せて表現・報道の自由を推進する声明発表
- 2015年5月4-5日 モゼリーニ上級代表訪韓。朴槿恵大統領・尹炳世外相・韓民求国防相とEU・韓国関係協議
- 2015年5月5日 欧州委員会、2015年春季経済予測発表。原油安・量的緩和・ユーロ安等で経済成長上方修正
- 2015年5月5-6日 モゼリーニ上級代表訪中。第5回EU・中国ハイレベル戦略対話で投資・気候変動など協議
- 2015年5月6日 EU・中国外交関係樹立40周年。トゥスク常任議長・ユンカー委員長・習近平ら祝意の声明
- 2015年5月6日 シュヴァイスグート駐中EU大使、中国中央テレビで欧州企業に対する市場開放の必要性強調
- 2015年5月6日 欧州委員会、欧州デジタル単一市場戦略採択。3つの柱の下で16もの具体的施策で構成
- 2015年5月6日 欧州委員会・ECB・IMFトロイカ、対ギリシャ支援協議で協働することを強調する共同声明
- 2015年5月6日 Eurostat、3月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏19カ国で前月比-0.8%、EU28カ国同-0.6%
- 2015年5月6日 英Markit Economics社、4月総合購買担当者指数(PMI)改定値はユーロ圏で53.9で前月比-0.1
- 2015年5月7日 欧州委員会、2015年度技術革新評価報告。革新的企業数・特許数・ベンチャー投資など減少
- 2015年5月7日 英下院総選挙。保守党331議席・過半数以上獲得、単独政権へ。労働党232議席、SNP56議席
- 2015年5月7日 モゼリーニ上級代表、イスラエルのネタニヤフ連立政権合意に祝意、中東和平交渉促す声明
- 2015年5月7日 韓国中銀、2014年韓国対外投資報告書。EUは1272億ドルで3位転落、中国が1324億ドルで2位
- 2015年5月8日 欧州委員会、防衛に関する2つの報告書を提出。CSDP(共通安全保障・防衛政策)の進展など
- 2015年5月8日 EU、ミラノ国際博覧会でEU館オープン。安全で持続可能な未来に向けた欧州の取組みを紹介
- 2015年5月8日 トゥスク欧州理事会常任議長、英総選挙を受けキャメロン英首相に英EU残留を期待する声明
- 2015年5月8日 ユンカー委員長、今後の英のEU改革案を歓迎するも、人の自由移動等4項目は交渉不可と牽制
- 2015年5月8日 中国海関総署、1-4月貿易額は、対米輸出が前年同期比+9.2%、対EU輸出は同-0.7%と減少
- 2015年5月8-9日 第二次世界大戦欧州対独戦争終戦70周年。欧州及びロシアなどで式典開催
- 2015年5月9日 ヨーロッパ・デー。シューマン仏外相による欧州の統合を謳うシューマン宣言より65周年
- 2015年5月9日 欧州理事会及びモゼリーニ上級代表、ヨーロッパ・デーに寄せて平和や統合に関する声明
- 2015年5月10日 ポーランド大統領選挙第1回投票、年金・税制改革のドゥダ欧州議員(野党)首位、現職2位
- 2015年5月11日 ユーログループ(ユーロ圏財務相会合)、ギリシャ財政改革と支援交渉、一定の進展を歓迎
- 2015年5月11日 キャメロン第2次英内閣発足。保守党単独政権。2017年末までにEU残留是非の国民投票予定
- 2015年5月12日 ECB政策委員会電話会議、ギリシャ銀向け緊急流動性支援(ELA)上限を11億ユーロ引上げ
- 2015年5月13日 欧州委員会、「欧州移民・難民アジェンダ」発表。国境管理予算増や再定住計画など含む
- 2015年5月13日 欧州委員会、2015年国別経済政策勧告発表。更なる雇用と成長に向けてEU各加盟国に勧告
- 2015年5月13-14日 モゼリーニ上級代表、NATO外相会議参加。露のハイブリッド攻撃へのEU-NATO協力協議
- 2015年5月15日 ベッテル・ルクセンブルク首相、同性婚を発表、EU首脳で初。同国は今年1月より法的認可

【編集後記】

今回の巻頭エッセイは、一橋大学大学院社会学研究科の秋山晋吾教授に執筆

していただきました。ハンガリーの移民政策(及び死刑制度)と政治の問題を斬新な切り口で分析されています。

確かにハンガリーはEUの東への拡大の際、最も「西側」に近い優等生の国というイメージがありました、ブダペストの町の美しさや日本との共通点もあることから、旅行人気も高かったものです。

現政権による移民政策や死刑制度に対するスタンスがEUのそれとは大きくかけ離れていることは驚きですが、その根底にEUから切り捨てられることはないという強烈な欧州人としての意識が横たわっていると、極めて危ういものを感じてしまいます。来年中にはEUからの離脱について国民投票を実施すると予想されている英国のことなどを考え合わせると、EU各国はダブルスタンダードの上で危うい綱渡りをしているようにも見受けられます。

EUSIは、大きく分けて法律、政治、経済の3分野を中心に様々なプロジェクトを実施してきましたが、今後はそのような分野の垣根を超え、また、より社会的な視点を導入した学際的なプロジェクトを考えていかなければならないかもしれません。そうでなければ、おそらくEUという一筋縄ではいかない存在を理解することはできないと考えるからです。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

1970年代の米欧関係の中のひとつのエピソードとして、キッシンジャー米国務長官が言い放ったとされる次のような有名な言葉があります。

「もしヨーロッパと相談したい場合には、一体誰に電話すればいいのかね？」
このキッシンジャーの言葉は、「ヨーロッパを対外的に代表する人物の不在」という事態を如実に物語ってきました。

すでに1975年より、EC全加盟国による首脳会議(サミット)である欧州理事会が定例化されるなど、ECそしてEU内の政治協力は一層の発展を見せてきました。ただし欧州理事会は、EU内の議長国制度のもとで半年毎の輪番制を取っており、その時の議長国の首脳が議長を務めるため、定まっていませんでした。これに併せてEUと域外国との首脳協議も、EU側からは欧州理事会議長(半年毎に交代)と欧州委員会委員長の2名が出席する形をとり続けてきました。

しかし2009年リスボン条約発効により、EU加盟国首脳会議でありまたEUの基本方針の最高決定機関である欧州理事会は、常設の議長を取ることになりました。これはまさに先のキッシンジャーの言葉に対して、欧州側が35年かけて到達した回答であり、これに就任したのがファン＝ロンパイ初代常任議長でした。そのファン＝ロンパイ氏が、この度6月2日(火)にEUSI主催で慶應義塾大学にてご講演下さることになりました。

折しも今週は、日・EU定期首脳協議が5月29日に東京で開催されます。昨年までファン＝ロンパイ氏本人がEU側を代表して参加しておりましたが、今回よりユンカー欧州委員長と、ファン＝ロンパイ氏の後任であるトゥスク欧州理事会常任議長による、就任後初めての日・EUサミットです。

またその2日後には現職の欧州議員であり対日交流議員団のメンバーでもあるイェンス・ガイエル欧州議員にもご講演頂く予定です。多くの皆様の御参加をお待ちしています。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo
〒186-8601 東京都国立市中 2-1

一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら
E-mail: info@eusi.jp
